



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社

コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (CEO) (氏名) 鈴木 俊郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員財務本部長 (氏名) 村上 淳一 TEL 03-3453-5111

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	128,513	11.7	4,576	16.1	4,003	21.7	3,323	40.4
2025年3月期第3四半期	115,028	6.2	3,939	0.8	3,289	31.4	2,366	34.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,327百万円 (48.0%) 2025年3月期第3四半期 3,598百万円 (17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 271.62	円 銭 -
2025年3月期第3四半期	193.72	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 85,871	百万円 44,107	% 51.3
2025年3月期	84,049	40,551	48.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 44,048百万円 2025年3月期 40,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 30.00	円 銭 -	円 銭 105.00	円 銭 135.00
2026年3月期	ー	40.00	ー	ー	ー
2026年3月期(予想)				110.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	164,000	4.2	5,500	△5.0	4,900	△0.7	3,900	10.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	16,281,373株	2025年3月期	16,281,373株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	4,038,755株	2025年3月期	4,050,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	12,236,451株	2025年3月期 3Q	12,216,613株

(注) 期末自己株式数には、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2026年3月期3Q 111,800株、2025年3月期 123,800株）が含まれております。また、本信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期3Q 117,996株、2025年3月期3Q 137,948株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(収益認識関係の注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国における政策の不確実性の高まりや地政学リスクの継続により、先行き不透明な状況が続きました。当社グループの事業領域であるエレクトロニクス業界は、AIをはじめとする次世代技術の需要拡大が半導体市場全体を牽引し、また国内のICT業界は、企業における生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要が依然として力強く推移しました。

このようななか、当社グループにおきましては2024年5月10日に公表しました長期的なビジョンの実現に向けた重要課題に鋭意取り組むこととし、その実行計画の第一段階として策定した当社第76期（2027年3月期）を最終年度としたV76中期経営計画では、安定してROE 8%以上を実現する事業構造の構築に向け、「経常利益50億円以上」「当期純利益35億円以上」という最終年度目標を掲げ、事業の持続的成長と資本効率の向上を実現するための取り組みとサステナビリティに関する取り組みに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,285億13百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は45億76百万円（前年同期比16.1%増）、経常利益は40億3百万円（前年同期比21.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は大阪支店の土地及び建物の譲渡に伴う特別利益（固定資産売却益）を計上したことにも影響し、33億23百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

なお、連結会社間での収益及び費用の内部取引におきましては、親会社の取引は取引発生時のレートまたは為替予約レートにより換算し、在外子会社の取引は期中平均レートにより換算して相殺消去しております。当第3四半期連結累計期間は円安が進行したことに伴い、相殺消去する費用が対応する収益を大きく上回ったため営業利益は増加しておりますが、同額が営業外費用の為替差損として調整されており、経常利益への影響はありません。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、パワー半導体、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、液晶パネル、モジュール等）の販売に加え、ソフト開発やモジュール開発等の技術サポートを行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、機構部品や海外メーカーの商材が堅調に推移したこと、また前年度下期に本格化した車載向けの新規ビジネスが今年度は期初から業績に寄与したことなどから、売上高は1,140億6百万円（前年同期比9.2%増）となりました。しかしながら、販売構成の変化により売上総利益率が低下したことに加え、販管費が増加したことにより、セグメント利益は19億78百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、ICTを利活用したネットワーク機器やセキュリティ製品をお客様の環境に合わせ設計・構築し、運用保守に至るまでワンストップにて提供しております。また、販売・生産管理をはじめとした基幹系業務システムや、人事・給与・会計等のアプリケーションをオンプレミスからクラウドまで様々な形態で提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、企業等における旺盛なDX推進ニーズを背景に情報通信ネットワーク関連ビジネス（ネットワークシステムBU）をはじめ総じて好調に推移したことから、売上高は145億6百万円（前年同期比36.2%増）となりました。また、販管費は増加したものの增收効果や売上総利益率の向上もあり、セグメント利益は20億24百万円（前年同期比112.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて18億21百万円増加し、858億71百万円となりました。これは主に売上債権の増加28億51百万円、現金及び預金の減少13億83百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて17億34百万円減少し、417億63百万円となりました。これは主に短期借入金の減少21億36百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて35億56百万円増加し、441億7百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加15億32百万円、為替換算調整勘定の増加14億84百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2025年11月6日に発表した下記予想数値から変更しておりません。

(2026年3月期連結業績予想)

売上高	1,640億円	(前期比 4.2%増)
営業利益	55億円	(前期比 5.0%減)
経常利益	49億円	(前期比 0.7%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	39億円	(前期比10.7%増)
期末配当	1株当たり110円	(中間配当を含めた年間配当金は1株当たり150円)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	9,361	7,977
受取手形、売掛金及び契約資産	38,533	41,135
電子記録債権	2,095	2,345
商品	19,750	18,705
半成工事	5	183
その他	5,161	5,282
貸倒引当金	△29	△36
流动資産合計	74,878	75,592
固定資産		
有形固定資産	6,067	6,227
無形固定資産	247	305
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	353	364
その他	2,512	3,385
貸倒引当金	△10	△4
投資その他の資産合計	2,854	3,745
固定資産合計	9,170	10,278
資産合計	84,049	85,871
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	15,558	15,130
短期借入金	24,121	21,984
未払法人税等	846	750
引当金	675	370
その他	1,567	2,182
流动負債合計	42,768	40,419
固定負債		
その他	729	1,344
固定負債合計	729	1,344
負債合計	43,497	41,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	16	16
利益剰余金	28,553	30,085
自己株式	△8,712	△8,691
株主資本合計	34,668	36,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,038	1,644
繰延ヘッジ損益	26	△57
為替換算調整勘定	4,536	6,021
退職給付に係る調整累計額	215	219
その他の包括利益累計額合計	5,816	7,827
非支配株主持分	65	58
純資産合計	40,551	44,107
負債純資産合計	84,049	85,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	115,028	128,513
売上原価	103,163	115,414
売上総利益	11,865	13,099
販売費及び一般管理費	7,925	8,523
営業利益	3,939	4,576
営業外収益		
受取利息	119	108
受取配当金	37	43
その他	60	78
営業外収益合計	218	230
営業外費用		
支払利息	478	362
為替差損	337	418
その他	51	22
営業外費用合計	868	803
経常利益	3,289	4,003
特別利益		
固定資産売却益	0	1,082
投資有価証券売却益	73	—
抱合せ株式消滅差益	8	—
特別利益合計	82	1,082
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損	70	—
在外子会社における送金詐欺損失	—	263
特別損失合計	70	263
税金等調整前四半期純利益	3,301	4,822
法人税、住民税及び事業税	722	1,365
法人税等調整額	211	139
法人税等合計	934	1,505
四半期純利益	2,366	3,316
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,366	3,323

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,366	3,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	605
繰延ヘッジ損益	△73	△83
為替換算調整勘定	1,255	1,484
退職給付に係る調整額	△4	4
その他の包括利益合計	1,231	2,010
四半期包括利益	3,598	5,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,598	5,334
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	104,381	10,647	115,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	104,381	10,647	115,028
セグメント利益	2,336	952	3,289

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	114,006	14,506	128,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	114,006	14,506	128,513
セグメント利益	1,978	2,024	4,003

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	227百万円	219百万円
のれんの償却額	20百万円	13百万円

(収益認識関係の注記)

(顧客との契約から生じる収益を分解した情報)

(単位：百万円)

報告セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
デバイス事業		
仕入先別		
機構部品メーカー	46,828	50,366
海外メーカー	41,841	44,281
その他メーカー	15,710	19,358
小計	104,381	114,006
ソリューション事業		
B U (ビジネス・ユニット) 別		
ネットワークシステムB U	5,005	7,354
消防・防災B U	372	690
プラットフォームB U	1,862	2,469
アプリケーションシステムB U	2,117	2,743
映像システムB U	1,289	1,248
小計	10,647	14,506
合計	115,028	128,513